

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月19日 (2012.1.19)

【公開番号】特開2009-175716(P2009-175716A)

【公開日】平成21年8月6日 (2009.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2009-031

【出願番号】特願2008-322075(P2008-322075)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/20 6 7 0 K

G 0 9 G 3/20 6 1 1 E

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 2 1 B

G 0 9 G 3/20 6 2 3 C

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月28日 (2011.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 端子が電源線に電氣的に接続され、第 2 端子が発光素子に電氣的に接続された n チャンネル型トランジスタと、

第 1 端子が前記電源線に電氣的に接続され、第 2 端子が前記発光素子に電氣的に接続された p チャンネル型トランジスタと、

一方の端子がデータ線に電氣的に接続され、他方の端子が前記 n チャンネル型トランジスタ及び前記 p チャンネル型トランジスタのゲートに電氣的に接続されたスイッチと、を有することを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

第 1 端子が電源線に電氣的に接続され、第 2 端子が発光素子に電氣的に接続された n チャンネル型トランジスタと、

第 1 端子が前記電源線に電氣的に接続され、第 2 端子が前記発光素子に電氣的に接続された p チャンネル型トランジスタと、

一方の電極が前記 n チャンネル型トランジスタ及び前記 p チャンネル型トランジスタのゲートに電氣的に接続され、他方の電極が前記電源線に電氣的に接続された容量素子と、

一方の端子がデータ線に電氣的に接続され、他方の端子が前記 n チャンネル型トランジスタ及び前記 p チャンネル型トランジスタのゲートに電氣的に接続されたスイッチと、を有す

ることを特徴とする表示装置。

【請求項 3】

第 1 端子が第 1 の電源線に電氣的に接続され、第 2 端子が発光素子に電氣的に接続された n チャンネル型トランジスタと、

第 1 端子が前記第 1 の電源線に電氣的に接続され、第 2 端子が前記発光素子に電氣的に接続された p チャンネル型トランジスタと、

一方の端子がデータ線に電氣的に接続され、他方の端子が前記 n チャンネル型トランジスタ及び前記 p チャンネル型トランジスタのゲートに電氣的に接続された第 1 のスイッチと、

一方の端子が第 2 の電源線に電氣的に接続され、他方の端子が前記 n チャンネル型トランジスタ及び前記 p チャンネル型トランジスタのゲートに電氣的に接続された第 2 のスイッチと、を有することを特徴とする表示装置。

【請求項 4】

第 1 端子が第 1 の電源線に電氣的に接続され、第 2 端子が発光素子に電氣的に接続された n チャンネル型トランジスタと、

第 1 端子が前記第 1 の電源線に電氣的に接続され、第 2 端子が前記発光素子に電氣的に接続された p チャンネル型トランジスタと、

一方の電極が前記 n チャンネル型トランジスタ及び前記 p チャンネル型トランジスタのゲートに電氣的に接続され、他方の電極が前記第 1 の電源線に電氣的に接続された容量素子と、

一方の端子がデータ線に電氣的に接続され、他方の端子が前記 n チャンネル型トランジスタ及び前記 p チャンネル型トランジスタのゲートに電氣的に接続された第 1 のスイッチと、

一方の端子が第 2 の電源線に電氣的に接続され、他方の端子が前記 n チャンネル型トランジスタ及び前記 p チャンネル型トランジスタのゲートに電氣的に接続された第 2 のスイッチと、を有することを特徴とする表示装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一において、

前記データ線には、少なくとも第 1 の電位、第 2 の電位又は第 3 の電位が入力され、

前記第 1 の電位は、前記 n チャンネル型トランジスタがオンになり、前記 p チャンネル型トランジスタがオフになる電位であり、

前記第 2 の電位は、前記 n チャンネル型トランジスタがオフになり、前記 p チャンネル型トランジスタがオンになる電位であり、

前記第 3 の電位は、前記 n チャンネル型トランジスタがオフになり、前記 p チャンネル型トランジスタがオフになる電位であることを特徴とする半導体装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一に記載の表示装置を具備することを特徴とする電子機器。